

ビッグデータ活用に関する先行研究調査からの将来研究課題の抽出について

高崎晴夫 (Takasaki Haruo)

Keywords : ビッグデータ、人工知能、データ駆動型社会、プライバシー、セキュリティ

1 目的

本研究の目的は、多くの社会的課題解決に向けて活用が期待されるビッグデータや AI について、多岐にわたる検討課題を、特にこの分野での研究が先行している海外の先行研究を幅広く調査することにより、それら諸課題の可視化、マッピングを試み、将来的な社会科学領域における学際研究課題の抽出とその基礎的解を深めることを目指す。

2 方法

本研究の調査・分析方法は、主に海外のビッグデータ及び AI 活用に関する社会科学系の先行研究（制度政策、経済学分析）を中心に幅広い文献調査（海外論文等 100 本超）を机上調査し、これまで先行研究における知見や課題を分析軸上でマッピングあるいは可視化を行った上で、諸課題の関連性を明らかにするとともに、今後の学際的な研究領域の可能性を探る。

3 結果

対象論文を既に抽出し、分析中である。

4 結論

上記分析の結果を秋季大会まで取りまとめ発表する。

【主要参考文献】

Carriere-Swallow, M. Y., & Haksar, M. V. (2019). The economics and implications of data: an integrated perspective. International Monetary Fund

Goldfarb, A., & Tucker, C. (2019). Digital economics. *Journal of Economic Literature*, 57(1), 3-43.

Molina, V., Kersten-Oertel, M., & Glatard, T. (2019). A conceptual marketplace model for iot generated personal data. arXiv preprint arXiv:1907.03047.

Li, W. C., Nirei, M., & Yamana, K. (2019). Value of data: there's no such thing as a free lunch in the digital economy. US Bureau of Economic Analysis Working Paper, Washington, DC.

Fruhworth, M., Rachinger, M., & Prlja, E. (2020, January). Discovering Business Models of Data Marketplaces. In Proceedings of the 53rd Hawaii International Conference on System Sciences.